

# 歴史散策 木曾三川水郷の旅 輪中文化にふれる

とても冷え込んだ朝となりましたが、澄み渡った青空のなかで、散策することができました。桑名駅を出発し、海蔵寺では宝暦治水の際に亡くなった「薩摩義士の墓」を見学、その後、船に乗船しました。長良川河口堰を通過する際には、寒さを忘れ多くの方が2階デッキに上がって見学されていました。船頭平公園で下船し、船頭平閘門の水門開閉の動作について、現地ボランティアの方から解説いただきながら見学したり、木曾川文庫では展示されている宝暦治水やヨハニス・デ・レイケの木曾三川の治水に関して解説をいただきました。

<コース>		
桑名駅（出発）	→ 海蔵寺	→ 住吉浦棧橋（乗船）～
長良川河口堰	～ 船頭平閘門棧橋（下船）	→ 木曾川文庫 →
船頭平閘門棧橋（乗船）	～ 長良川河口堰	～ 住吉浦棧橋（下船・解散）



<桑名駅東口ロータリーに集合>



<海蔵寺にて>



<海蔵寺にて>



<住吉浦棧橋から乗船>



<長良川河口堰へ>



<河口堰内>



<船頭平閘門に到着>



<木曾川文庫>



<船頭平閘門明治の水門扉>



<船頭平閘門開閉の実演を見学>



<ヨハニス・デ・レイケ像前にて>



<再び乗船し住吉浦へ>